



2018年8月24日

写真を撮って、絵葉書を作って「水の文化」に触れよう！
ミツカン水の文化センター企画展「水の文化祭」開催

場所：愛知県半田市「MIZKAN MUSEUM（愛称 MIM）」
 期間：2018年9月1日（土）～9月30日（日）

ミツカン水の文化センターは、2018年9月1日（土）～9月30日（日）の期間、ミツカングループが運営する体験型博物館「MIZKAN MUSEUM（愛称 MIM）」にて、ミツカン水の文化センター企画展「水の文化祭」を開催いたします。当該の企画展については、予約不要で入館料は無料です。

本企画展では、展示内容を学校の文化祭のプログラムに見立て、フラッシュ撮影すると展示写真に変化が起こる「不思議な水の文化写真展」や、重ね捺しスタンプで作る「オリジナル絵葉書作り」、ミツカン水の文化センター発行の機関誌『水の文化』を実際に閲覧できる「水の図書室」コーナーなど、作品を作ったり読書をしなが、文化の秋をお楽しみいただける内容にしました。また、フラッシュ撮影すると見えていなかった妖怪が映り込むフォトスポットや、床に投影された川に入るとそこに生きる生物が飛び出す展示を8月から継続し、お子様にもお楽しみいただけます。

ミツカン水の文化センターは本企画展により、機関誌などのミツカン水の文化センターの活動に触れていただくことを通じて、身近な水への関心を高め、水への感謝の気持ちを思い起こすきっかけを提供することを目指します。



写真左：地元の矢勝川を模したプロジェクションマッピングの画像。川に入るとそこに棲む生物が飛び出てくる仕立てです。

写真右：「ビックリフォトスポット」をフラッシュ撮影した画像。フラッシュ撮影することで、妖怪達が夜の半田運河に浮かび上がります。

《開催概要》

日時：2018年9月1日（土）～2018年9月30日（日） 9時30分～17時00分〔期間中の木曜日は休館〕

場所：MIZKAN MUSEUM MIMホール

予約：予約不要（MIZKAN MUSEUM常設展示コースは、要予約）

入館料：無料（MIZKAN MUSEUM常設展示コースは、大人：300円～100円 小中高生：200円～50円）

企画展内容：「水の文化祭」センターの機関誌『水の文化』に触れる 「水の図書室」
 フラッシュ撮影すると展示写真が変化する！ 「不思議な水の文化写真展」
 重ね捺しスタンプで作る 「オリジナル絵葉書作り」
 バーチャル体験 「矢勝川の生き物たちと遊ぶ」
 フラッシュ撮影すると、背後に妖怪が映り込む！ 「ビックリフォトスポット」

〔本件に関するお問い合わせ先〕 ミツカン水の文化センター 企画・運営担当 松本・青木

TEL.03-3555-2607 FAX.03-3297-8578 <http://www.mizu.gr.jp>



【機関誌・フотスポット・重ね押しスタンプ絵葉書について】

① 機関誌『水の文化』について

「水の図書室」コーナーでお読みいただける機関誌『水の文化』は、ミツカン水の文化センターが年3回発行（無料）している雑誌です。さまざまな切り口で「水と人」の接点に生まれる“水の文化”を探り、お伝えしています。最新号は 59 号『釣りの美学』です。



水の文化 59号 2019年6月

② ビックリフオトスポット



かつての半田運河の様子をイメージしたフオトスポット。スポットの前に立ってフラッシュ撮影すると、あら不思議・・・撮影前には隠れていた妖怪達が、ひっそりとあなたの後ろに写り込みます！

③ 重ね押しスタンプで作るオリジナル絵葉書



5色のスタンプを白地のハガキ用に重ね押しすることで、版画のような風合いのオリジナル絵葉書が完成します！絵柄は「半田運河」「弁材船」「MIZKAN MUSEUM」の3種類がお楽しみいただけます。

【「ミツカン水の文化センター」とは】

ミツカングループは1804年（文化元年）の創業以来、食酢の醸造を社業の中心としてきました。食酢の醸造に水は欠かせないものであり、ミツカングループは水の恩恵を受け、水によって育てられてきたといっても過言ではありません。それだけに、水に対する関心は創業当時から一貫して高いものがあり、社会貢献活動のテーマに“水”を選ぶことになりました。1999年1月に、「水の文化」に関するさまざまな研究や情報発信を推進していく拠点として「ミツカン水の文化センター」を設立。機関誌「水の文化」の年3回の発行、今年24回目になる「水にかかわる生活意識調査」の実施など、様々な活動を行っています。